

㊦ 図書室紹介 ㊦

日本赤十字社医療センター図書室

石澤 沙紀

I. はじめに

2010年1月4日の新病院への移転から8ヶ月。夏の暑さや筋肉痛と戦いながらも、ようやく図書室内の引越しが完了しましたので、紹介いたします(図1)。



図1 日本赤十字社医療センター

II. 蔵書状況(2010年3月現在)

1. 単行書(冊子: 10,213冊 MDConsult: 51冊、LWW Doody's Essential Collection 2009: 55冊)
2. 製本雑誌(冊子: 20,097冊)
和雑誌: 冊子73誌、電子ジャーナル830誌
洋雑誌: 冊子5誌、
電子ジャーナル2,371誌

ISHIZAWA Saki

日本赤十字社医療センター図書室
library@med.jrc.or.jp

引越しに伴い、洋雑誌の多くを電子ジャーナルのバックファイルに切り替えました。各データベースの説明や利用方法を記載したパンフレットを設置し、利用を促しています。

冊子体は全ての書架に、配架されている雑誌名、冊子体や電子ジャーナルの有無を記載したインデックスサインを取り付けています。どの雑誌がどの書架に配架されているか、一目で分かるため、書架を探し回る時間が短縮されているのではないかと思います(図2)。

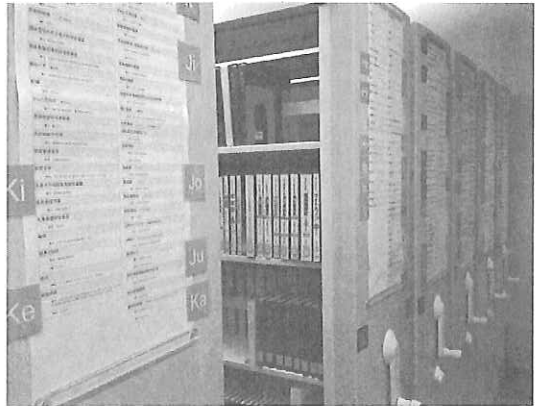


図2 可動ラック

III. 看護大学図書館との共同事業

今年度より、隣接する看護大学図書館との共同事業を開始しました。互いの強みを生かしあいながら、相互利用のほか、合同でデータベースの説明会を開催しています。

IV. 利用状況 (2009年度)

1. 貸出冊数 719冊

2. 相互貸借：依頼 403件、受付 644件

旧図書室と比べ、医局・看護部・事務局に隣接していることもあり、職種を問わず職員の利用が多くなりました。また、共同事業を行っている看護大学や助産師学校、幹部候補生の利用も増えてきています。相互貸借は、依頼が1か月間、受付が約8か月間引越しに伴い休止をしていたため件数は多くはありませんが、引越し後は貸出数と共に件数が増えています。

V. おわりに

久しぶりに本に囲まれながらの業務再開から一ヶ月が経ちました。私自身戸惑ってしまいうこともまだまだあります。日々学びながら、一人でも多くの方に利用してもらえるような図書室作りを目指し、成長していきたいと思えます。